

真陽防災福祉コミュニティ

(兵庫県神戸市)

キーワード(活動内容)	災害弱者対策、防災訪問、病院との協力、他地域との交流、巡回パトロール、防災のつどい
連携状況	自治会、民生児童委員、婦人会、老人会、PTA等より構成される。

活動概要

1. 活動の経緯

真陽地区は神戸市内でも最も下町風情の残された街並で、住、商、工が入り混じり、24時間絶えず動いているところである。

本地区では地域福祉活動を行うことを目的として、地区内の組織・団体(自治会、民生児童委員、婦人会、老人会、PTA等)により構成された社会福祉推進協議会(現在の「ふれあいのまちづくり協議会」)が結成されており(昭和59年設立)、以前から地域コミュニティの充実に取り組んできた。

その後、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、神戸市で推進している「防災福祉コミュニティ」づくりにおいて、平成8年3月に長田区第1号のモデル地区として真陽防災福祉コミュニティが発足された。要援護者対策及び地域福祉と地域防災の連携を目的に、地区内の組織・団体と連携して各種防災活動を行っている。

なお、「ふれあいのまちづくり協議会」と「防災福祉コミュニティ」の代表者は同じ方が兼任されている。また、役員等についても兼任されている方がおり、地区内の組織・団体の連携がスムーズにとれる仕組みとなっている。

2. 活動の内容

(1) 防災福祉のつどい

真陽小学校全児童・職員・PTA・地域防災員・65歳以上の老人会が参加する「防災福祉のつどい」を行っている。内容は、児童の防災教育授業、緊急避難訓練、保護者への引き渡し訓練、ゲーム化された消火競技会、消防団員・地域消火班・教職員と連携した動力ポンプ・屋内消火栓を使用して放水訓練、給食給水班による給食などを実施している。これらの訓練を老人の皆さんの目の前で披露して実践に備えている。

(2) 年末パトロール

年末火の用心及び治安の維持を目的に、12月25日～30日に夜間年末パトロールを子ども班、自治会班(2組)、消防団班と各自が実施している。

(3) 神戸協同病院への支援

地区内にある神戸協同病院が夜間出火した場合を想定して、近辺の地域構成員の所に

病院から出動要請を受ける仕組みになっており、2～4階の入院患者の避難誘導を行う。

(4) 要援護者宅への訪問

高齢者宅に対して、民生委員を中心とした友愛訪問グループが給食サービスを行ったり、友愛訪問を行って安否の確認や話し相手をしている。また、友愛訪問グループの養成にも力を入れている。

(5) 共立(ともだち)ネットワーク

若い世代や既存の組織に属していない人材を発掘し、地域の活性化と親睦を図ることを目的に、共立(ともだち)ネットワークづくりを行っている。入会は中学卒業後の男女が対象で、イベント企画、子供会育成、文化活動など幅広い活動を行っている。

(6) 他地域との交流

長野県飯田市三穂地区と交流をしており、真陽地区主催の夏祭りに参加してもらったり、飯田市主催の防災講演会に出向いたりしている。また、平成9年に起きたロシアタンカー重油流出事故の際には、但馬海岸地域でボランティア活動を行っている。

3. 活動における苦勞・課題

本地区では独居老人(65歳以上)を300名、その他70歳以上の老人を約600名をかかえ(平成13年現在)、いわゆる弱者人口が多数を占めている。そのため、それらの方の把握に絶えず苦勞をしている。また、次代を背負う若き世代の人材を育成することも大きな課題の一つである。

4. 今後の予定

年頭のぼうさいのつどい、フェスティバル等を通じて、防災意識の啓発を続けていきたい。また、住民の認識度を見計らって、さらなる活動の向上を図るような仕掛けや本地区の良い点、悪い点の発見に勤めていきたい。

資料一覧

資料1 ふれあいのまちづくり協議会組織図

資料2 真陽防災福祉コミュニティ概要

資料3 「真陽防災福祉のつどい」広告

資料4 新聞記事(神戸新聞(1997.2.2))

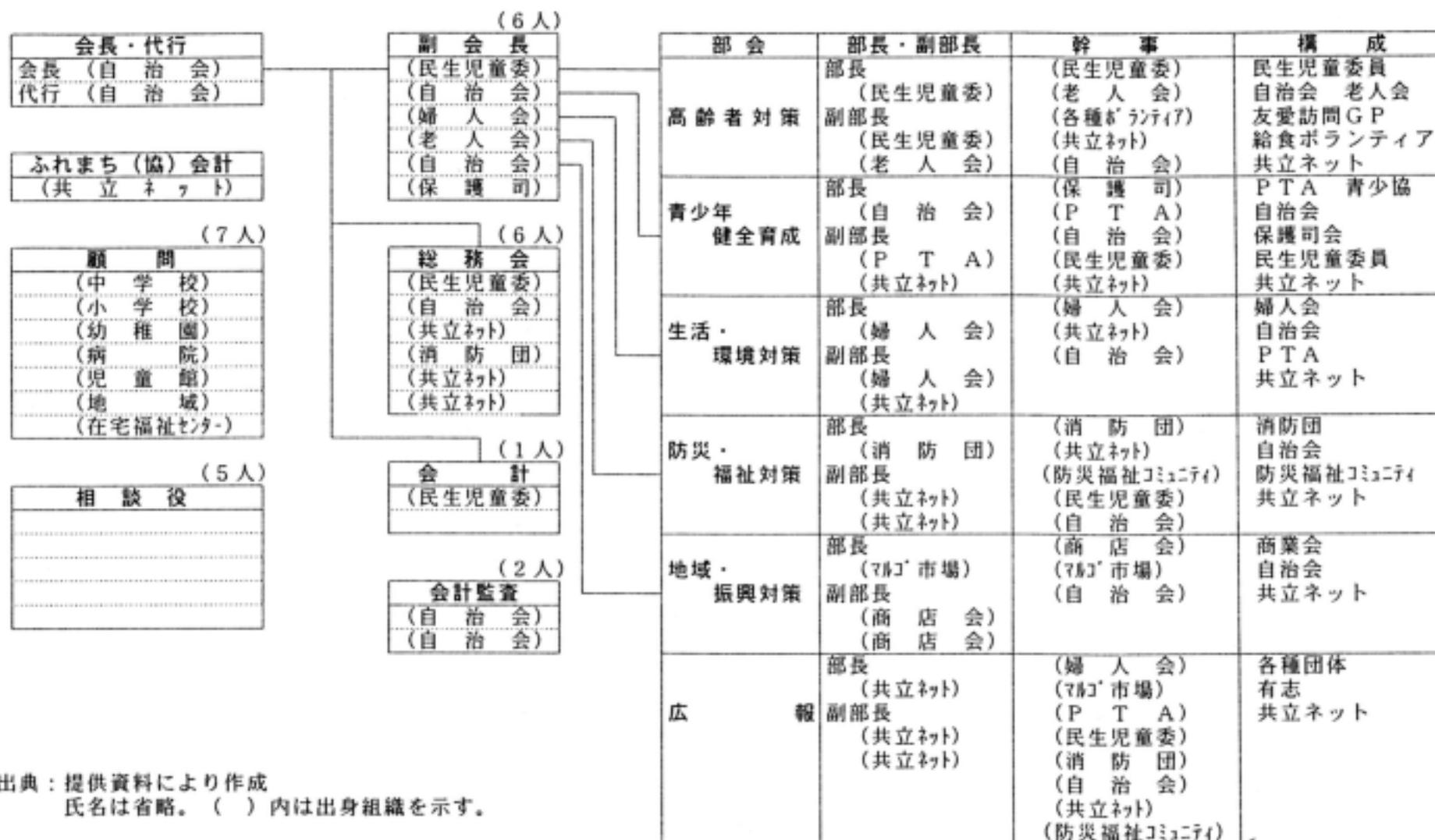
団体連絡先

担当者	真陽防災福祉コミュニティ代表(正賀)
住所	〒653-0035 兵庫県神戸市長田区庄田町1-8-9
TEL	078-641-0246
FAX	078-642-0666

資料1 ふれあいのまちづくり協議会組織図

(参考) 真陽地区社会福祉推進協議会(9年度)

◎ふれあいのまちづくり協議会地域活動組織の構成



出典：提供資料により作成
氏名は省略。()内は出身組織を示す。

真陽地区はどんなまち？



しんようのはな：ひまわり

真陽防災福祉コミュニティ…地区内の全組織団体で構成



平成8年3月24日に長田区第1号のモデル地区として発足。震災を教訓に地域のありかたを問いかけています。

(結成式の様子)

(地域みんなで消防訓練)



真陽地区では良好な地域コミュニティの充実に取り組んでいます



(まつりの様子)

長田神社の大祭では地域をあげてのお祭りとしておみこしの昇番では子どもから若者そして女性も巻き込んで町中興奮の渦でした。

お年寄りの給食サービスや友愛訪問を古くから実施しています。



真陽フェスティバル～神戸まつり～

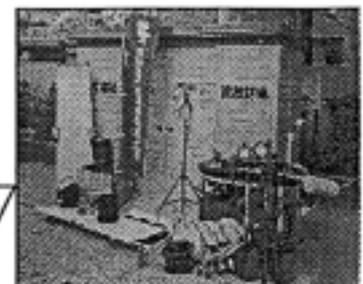
毎年2,000人を超える住民を集めて開催。共立(ともだち)ネットワークの若者たちの運営で盆おどり、舞台、屋台、イベントなど盛りだくさんのメニュー。夜のふけるのをわすれるくらい盛大な催しです。

また、震災を機に長野県飯田市の皆さんとの交流事業も加え、各方面から注目されています。



長田消防団第7分団のみなさんと共に地域防災福祉に取り組んでいます。

- 防災資機材
動力ポンプ、スコップ、バール、布バケツ、ジヤッキ、のこぎり、組み立て水槽、発動発電機、投光器、担架
- 地区内3ヶ所に分散配備→真陽小学校、庄騎さつき公会堂、真陽地域福祉センター



このような活動をつじてさらに地域コミュニティの輪を充実したものにしたいと願っています。

第2回 真陽 防災福祉のつどい

真陽地区のみなさん全員集合!



- ◆ホースの延長及び模範演技 …… 消防団
- ◆救出担架搬送訓練 …… 真陽防災福祉コミュニティ
- ◆子ども達の水消火器対抗競技 … 真陽子ども会
- ◆バケツリレータイムトライアル競技 …… 真陽防災福祉コミュニティ
- ◆防災関係の「小行事クイズ等」 …… 消防団
- ◆ポンプによる一斉放水 …… 真陽防災福祉コミュニティ



とき 平成10年1月18日(日)

10:00~13:00

場所 真陽小学校 校庭

(雨の場合もちつき大会のみ実施)



主催/真陽防災福祉コミュニティ 後援/長田消防署

1997年(平成9年)2月2日 日曜日
神戸新聞

うどん食べて ぬくもってや

長田のボランティア

ロシアタンカーから流出、漂着した重箱の回収作業が続く兵庫県の但馬海岸で一日、神戸市長田区の真隣防災福祉コミュニティ(正實幹代表)の有志十二人が、作業に励む地元住民やボランティアに熱々のうどんを振る舞った。ボラン



次々にうどんを作る真隣防災福祉コミュニティのメンバーら＝兵庫鳳城崎郡竹野町

震災時の温かさ「お返し」

ロシアタンカーから流出、漂着した重箱の回収作業が続く兵庫県の但馬海岸で一日、神戸市長田区の真隣防災福祉コミュニティ(正實幹代表)の有志十二人が、作業に励む地元住民やボランティアに熱々のうどんを振る舞った。ボラン

ティアは土、日曜日を中心に出、漂着した重箱の回収作業が続く兵庫県の但馬海岸で一日、神戸市長田区の真隣防災福祉コミュニティ(正實幹代表)の有志十二人が、作業に励む地元住民やボランティアに熱々のうどんを振る舞った。ボラン

真隣小学校区の住民らで昨年の活動は今回が初めて、「震災でいろんな人にお世話になった。お返しに行かなあろうか」との声が上がった。同日、但馬海岸全域でボランティアだけで六百五十人が活動した。